

No. 1588

出版のあゆみ展

——東京——

国立国会図書館新館では当館40周年記念事業の一つとして11月21日から3週間「出版のあゆみ展」が開かれています。小さな塔に経文を入れ法隆寺などに納めた日本最古の8世紀の印刷物である「百万塔陀羅尼」、16世紀に発行された「どちりな・きりしたん」など各時代を代表する出版物が出品されています。古代から現代、未来へのメディアの移り変わりのコーナーも設けられ、実際に機材を動かすことが出来、来場者の興味を呼んでいます。

江副氏、国会で証言

——リクルート疑惑——

リクルートコスモス非公開株の政官財界へのバラマキなど一連のリクルート疑惑をめぐる証人喚問が11月21日衆議院リクルート特別委員会で行われました。午前中は疑惑発覚の6月以降、公の場所から姿を消していた江副浩正リクルート前会長が証言台に立ちました。

江副氏はリクルート株譲渡に中心的役割で関与したことは認めたものの、株譲渡は「基準はなく場当たりのだった」とのべ疑惑を否定しました。民間人を含むリストの全氏名公表については「民間人の方々にご迷惑をかけるのでご容赦願いたい」の繰り返しに終始しました。

今回の証言から警察関係者の氏名や宮沢蔵相の秘書が直接、接触したという新事実は出たものの全体的には期待はずれの追及に終わりました。午後には「妻が株を買った」と言っていた高石邦男前文部事務次官が「株譲渡の話はリクルート関連のファーストファイナンスの社長と文部省次官室でした」と証言。つづいて加藤孝前労働事務次官も次官室で株の譲渡契約を結んだことは認めたものの職務権限との関連については否定しました。

新たな国会での証人喚問と東京地検特捜部による捜査を通じての全容解明に注目したいものです。